



けいずいそんしょう

## 『頸髄損傷について』

函館中央病院 整形外科  
岩田 玲 医長

略歴：平成14年北海道大学医学部卒業。同年より北海道大学病院に勤務。以後、手稲深仁会病院救急部、市立札幌病院、北海道大学病院、釧路労災病院、苫小牧市立総合病院、岩見沢市立総合病院、北海道中央労災病院 せき損センターへの勤務を経て、平成24年より中央病院整形外科に勤務。同年より同科医長に就任。専門は脊椎外科。日本整形外科学会専門医。

頸髄損傷とは文字通り頸髄（首の中の脊髄）の障害です。冬場は除雪中の屋根からの転落や雪道での転倒、スリップによる交通事故などにより頸椎（首の背骨）が過度に動かされて脊髄が伸ばされる場合や、骨折や脱臼を生じた頸椎が直接脊髄を打撃して発症します。北海道では60〜70歳を中心に年間150〜200人が発症しています。

その症状は運動神経の障害による麻痺、感覚神経が障害されて生じる激しい痛みやしびれ、自律神経の一つである交感神経の障害で、起立性低血圧・不整脈・イレウス（腸閉塞）などを誘発し、排尿機能の障害も出現します。飲食が困難になる方では胃に瘻孔（穴）を設けて栄養を、自力排尿が困難になる方では膀胱に瘻孔を設けて排泄を確保しますが、咳を強く出せずに肺炎になりやすい、麻痺・感覚障害のために褥瘡（床ずれ）がでやすいなど避けがたい問題も多数あります。

脊髄は脳と同様に、損傷するともとの状態に戻すことができません。そのため根本的な治療は不可能です。脊髄再生の研究はされていますが、実用化にはまだまだ時間がかかります。現段階では、新たな脊髄障害を生じうる病変を除

去し、支持性を失った脊柱（背骨）の再建を行い、リハビリで四肢の可動性を維持します。約3か月間経過すると残存する脊髄障害と障害を免れた機能がある程度明確になりますので、頸髄損傷を受容できるようになれば補助具を作成し、日常生活に戻るためのリハビリに移行していきます。自宅に帰宅できる方は発症して半年経っても半数程で、特に高齢者では帰宅できない方が多くいます。厳しいけがですので、屋根の除雪を行う場合などでは安全を十分確保して作業をしてください。

### 函館中央病院

函館市本町33-2  
☎0138-52-1231(代)

診療科目／内科、消化器内科、循環器内科、産婦人科、小児科、外科、整形外科、形成外科、心臓血管外科など全22科目

受付時間／8:30~11:30・13:30~16:00  
※土曜は午前のみ。

診療科や時間帯によっては要予約。  
休診日／日曜・祝日・年末年始・開院記念日(6月第1水曜)

<http://www.chubyou.com/>